

# つくる会／つくる会東京支部が贈る連続講演会

第6回 7月7日(木) 午後6:00-8:00

場 所：文京区民センター  
2階 A会議室

資料代：1,000円

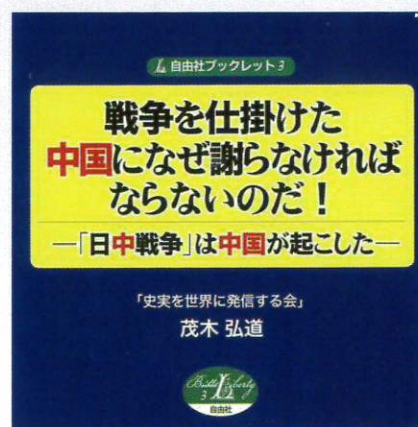
茂木 弘道

「77 記念日

## 中国共産党が日本に戦争を仕掛けた記念日」

中国共産党は1931年11月7日に江西省瑞金を首都とする「中華ソビエト共和国」を樹立した。その後、蒋介石政権の包囲殲滅作戦により長征と自称する逃避行の挙句、延安に逃げ込んだのだが、瑞金にいたときの1934年4月26日に、日本に対して宣戦布告をしているのである。

中国共産党はこの時から正式に対日戦争を開始したわけであるが、実質的な効果は上げていなかったのである。しかし、1937年7月7日、盧溝橋事件という謀略戦によって、日本を蒋介石政権との本格戦争に巻き込むことに成功したのである。すなわち、7月7日は中共が日本に戦争を仕掛けて成功した記念日なのである。この仕掛けの成功により、中国共産党は中国の支配者になり上がっていったのである。



なんと戦争を起こした張本人は  
**中国ではないか!**



ビックリの史実が  
次々に明かされていく!  
読後感は一言「目からウロコ!」

※会場での販売、サイン会あり



■茂木弘道 (もてき・ひろみち)

昭和16年生れ。東京大学経済学部卒業。

平成2年(株)世界出版を設立

新しい歴史教科書をつくる会理事

「史実を世界に発信する会」会長

<著書>『小学校に英語は必要ない』(講談社)

『文科省が英語を壊す』(中公新書)

『戦争を仕掛けた中国になぜ謝らなければならないのか』(自由社)

『大東亜戦争 日本は「勝利の方程式」を持っていた』(ハート出版) ほか

訳書：『「太平洋戦争」は無謀な戦争だったのか』(原著者:ジェームズ・ウッド)

共著：『日米戦争を起こしたのは誰か』(勉誠出版)

新しい歴史教科書をつくる会／同東京支部 (共催)

〒112-0005 東京都文京区水道2-6-3-203

参加申込み⇒ TEL03-6912-0047 FAX03-6912-0048 konshin@tsukurukai.com